

日本土壌微生物学会 2009年度 定期総会資料

2009年6月13日(土)13:00～14:15

於 九州大学 工学部旧本館(福岡市)

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 2008年度会務報告
 - 1) 総務報告
 - 2) 会計報告
 - 3) 会計監査報告
 - 4) 編集・出版報告
 - 5) 行事報告
 - 6) 日本農学会関連報告
 - 7) 評議員会報告
5. 2009年度会務案
 - 1) 行事案
 - 2) 予算案
 - 3) その他
6. 議長解任
7. ポスター賞受賞者発表
8. 新旧会長挨拶
9. 次年度大会実行委員長挨拶
10. 閉会の辞

I. 2008年度会務報告

1) 総務報告

- (1) 会員状況(2009年6月1日現在) * ()内は昨年5月からの変化
正会員数:511名(-7名)、購読会員:34機関(-3機関)、賛助会員数:21社 26口(-3社-3口)
- (2) 次期会長、副会長、評議員の選出

2008年11月28日に、對馬誠也 選挙管理委員長名で日本土壤微生物学会2009・2010年度評議員選挙が公示され、2009年1月28日に投票が締め切られた。2009年2月3日に選挙管理委員長立ち会いのもと評議員選挙の開票を行った。前回投票率が低かったことから、投票用紙の返信用封筒に料金受取人払いの封筒を使用した結果、投票総数:254票(前回112票)、投票率:31.3%、有効投票数:247票(111票)と、大幅に投票数が増加した。投票の結果、計12名の地域選出評議員が選出され、選出された地域選出評議員による協議の結果、次期会長(就任期間2009年度大会から2011年度大会まで)に土屋健一 九州大学教授(現副会長)が、副会長に齋藤雅典 東北大学教授がそれぞれ選出され、土屋健一次期会長が8名の推薦評議員を指名した。

——次期会長・副会長・評議員体制——

【会長】土屋健一 【副会長】齋藤雅典

【地域選出評議員】(敬称略)

北海道:松本直幸、東北:古屋廣光、北関東:太田寛行・對馬誠也、南関東甲信越:横山正・妹尾啓史・穴戸雅宏、中部:小川直人・浅川晋、近畿:相野公孝、中国・四国:横山和平、九州:染谷孝

【会長選出評議員】(敬称略、地域:北から南順)

南澤究、宮下清貴、仲川晃生、藤井毅、有江力、野口勝憲、景山幸二、久我ゆかり

(3) 幹事会報告

- ◆2008年度第2回幹事会 日時:2008年11月22日(土)、場所:東京農工大リエゾンオフィス
(報告事項)

- ① 会務報告:2008年11月現在の会員状況について報告があった。
- ② 会計報告:2008年度予算執行状況の説明があった。
- ③ 編集委員会報告:「土と微生物」投稿論文の審査状況とM&E編集・出版状況について報告があった。
- ④ 日本農学賞受賞候補者推薦に関して:日本農学賞受賞候補者推薦について報告があった。
- ⑤ 日本農学会運営委員会報告:委員会で提案された2009年度シンポジウムテーマについて説明があった。
- ⑥ 日本学術会議の関連:国際土壤科学連合(IUSS)分科会の新体制立ち上げについて報告があった。
- ⑦ 評議委員選挙について:評議委員選挙の準備状況、スケジュールについて説明があった。

(審議事項)

- ① 2009年度大会について:大会実行委員長から開催(案)の説明があり、審議の結果了承された。
- ② 財政問題検討について:会計幹事より、会計状況の報告があり、会員数増加の方策について検討した。
- ③ 会誌への広告掲載について:事務局案が審議され、2009年10月号から広告を掲載することとした。
- ④ M&E編集委員の推薦について:日本微生物生態学会に推薦するM&E編集委員を決定した。
- ⑤ 賛助会員の権利と優遇策について:事務局案を審議し、修正(案)を総会に提案することとした。

- ◆2009年度第1回幹事会 日時:2009年5月23日(土)(土曜日)、場所:東京農工大リエゾンオフィス
(報告事項)

- ① 会務報告:会員動向、新規学会役員等について報告があった。
- ② 会計報告:2008年度会計報告および会計監査の結果について説明があった。
- ③ 編集委員会報告:「土と微生物」編集状況とM&E編集・出版状況について報告があった。
- ④ 2009年度大会について:大会実行委員長から、準備状況について報告があった。
- ⑤ 日本農学会報告:木村先生の日本農学賞および読売農学賞の受賞について報告があった。
- ⑥ 日本学術会議関連報告:土壤科学分科会およびIUSS分科会の立ち上げ等について報告があった。
- ⑦ 服部先生編集の「土壤微生物通信探訪(1)、過去と対話してみませんか?」の刊行について報告があった。

(審議事項)

- ① 2009年度予算案に関して:2009年度予算案が説明され了承された。
- ② ポスター賞選定基準改定(案)の説明があり、一部修正することで了承された。
- ③ 賛助会員優遇策(案)が審議され、一部修正することで了承された。
- ④ 福岡大会における新型インフルエンザ対応とコンピューターウイルス感染の防止について審議した。

2) 会計報告

2008年度会計 報告

(1) 2008年度収入の部

項目	予算額	決算額	増減(決算-予算)
前年度繰越金	3,263,864	3,263,864	0
正会員費	2,510,000	2,744,000	234,000
購読会員費	240,000	240,000	0
賛助会員費	280,000	290,000	10,000
M&E誌代金	128,800	231,000	102,200
雑収入	300,000	516,201	216,201
収入合計	6,722,664	7,285,065	562,401

(2) 2008年度支出の部

項目	予算額	決算額	増減(決算-予算)
会誌刊行費	2,100,000	1,823,912	-276,088
大会運営費	300,000	300,000	0
日本農学会分担金	60,000	60,400	400
学術シンポ等補助	50,000	0	-50,000
M&E誌印刷・発送手数料	250,000	210,754	-39,246
M&E誌共同編集・出版費	200,000	200,000	0
公開シンポジウム・出前授業経費 事務費	30,000	30,000	0
事務管理費	200,000	16,830	-183,170
旅費交通費	200,000	185,180	-14,820
会議費	30,000	24,828	-5,172
通信郵送費	170,000	135,840	-34,160
文房具費	30,000	13,098	-16,902
諸印刷費	170,000	195,954	25,954
雑費	100,000	87,340	-12,660
小計	3,890,000	3,284,136	-605,864
予備費	2,832,664	4,000,929	1,168,265
支出合計	6,722,664	7,285,065	562,401

(3) 財産目録(2009年3月31日現在)

項目	金額
現金	83,354
郵便振替口座	203,760
郵貯銀行通常貯金	2,734,489
常陽銀行普通預金	979,326
財産合計	4,000,929

3) 会計監査報告

4) 編集・出版報告

① 会誌発行状況

Vol.62 No.2 2008年10月発行: シンポジウム4編、公開シンポジウム2編、報文2編、ノート2編、こんなことがいま3編、一般講演要旨50編、本会記事

Vol.63 No.1 2009年4月発行: 巻頭言、報文2編、総説1編、解説3編、こんなことがいま5編

② 投稿状況

1. 受理決定原稿:0報、審査中原稿:1報(2009年5月23日時点)

2. 2009年10月号掲載予定:シンポジウム原稿6編、解説原稿2編依頼中

③ 書籍刊行

服部勉先生編集の「土壌微生物通信探訪(1)、過去と対話してみませんか?」が博友社から刊行された。

5) 行事報告

2008年6月12日~13日に日本土壌微生物学会2008年度大会を、静岡県静岡市の静岡大学会館で開催した(参加者180名)。また、それに伴い2008年6月12日に静岡市立富士見小学校で出前授業を行った。

7) 日本農学会関連報告

木村先眞人生の日本農学賞・読売農学賞受賞に関して

日本土壌肥料学会と共同で推薦した木村真人元会長が日本農学賞ならびに読売農学賞を受賞された。授与式は、2009年4月5日東京大学山上会館で開催された第80回日本農学会大会で執り行われた。当学会としては、一昨年度の服部勉元会長、丸本卓也元会長、昨年度の生越明元会長の受賞に続く、3年連続4人目という快挙となった。

8) 評議委員会報告

II. 2009年度会務案

1) 行事案

- ② 2009年度(第55回)大会を開催するとともに、2010年度(第56回)大会の実行委員会を立ち上げ、開催の準備を行う。
実行委員長: 東京大学 妹尾啓史先生
- ③ 学会誌「土と微生物」を発行する。
- ④ PDF化した「土壌微生物通信」と「土と微生物」Vol.1～Vol.59のCDの販売を促進する。
- ⑤ 「土と微生物」への投稿を促進する

2) 予算案

(1) 2009年度収入の部

項目	予算額	備考
前年度繰越金	4,000,929	
正会員費	2,490,000	498名×5,000円
購読会員費	228,000	38件*@6,000円
賛助会員費	270,000	22社27口*@10,000円
M&E誌代金	180,000	35名1機関@5,000円
雑収入(大会運営費返金等)	300,000	
収入合計	7,468,929	

(2) 2009年度支出の部

項目	予算額	備考
会誌刊行費	1,600,000	
大会運営費	300,000	
日本農学会分担金	60,000	
学術シンポ等補助	50,000	
M&E誌印刷・発送手数料	300,000	
M&E誌共同編集・出版費	200,000	
公開シンポジウム・出前授業経費	10,000	出前授業経費 10,000円
事務費		
事務管理費	200,000	
旅費交通費	250,000	
会議費	40,000	
通信郵送費	170,000	
文房具費	30,000	
諸印刷費	200,000	大会ポスター、チラシ含む
雑費	100,000	
小計(単年度支出分)	3,510,000	
予備費(次年度繰越金)	3,958,929	
支出合計	7,468,929	

3) その他